

三学年だより

No, 5

令和 7年 7月 4日
太宰府市立太宰府西中学校
文 責 : 江崎 彰泰

最後の部活動

～ 感謝の気持ちと勝ち負けの先にあるもの ～

中体連総合体育大会は、それぞれの種目で筑紫区大会が終わりました。各種目で熱戦が繰り広げられましたが、残念ながら多くの人が引退となりました。選手としてプレーした人、まわりから応援した人、それぞれがチームや仲間のために自分の役割を全力でやり遂げることができたでしょうか。

力を出し切り悔いなく終わることができた人、力を出すことができずに悔しい思いを残した人、様々な終わり方があったと思います。お疲れさまでした。

2年と3ヶ月、たくさん練習や試合を重ねてきたことでしょう。今まで部活動が続けることができたのは、いろいろな人の支えや応援のおかげだということを忘れてはいけません。家族、仲間、先輩や後輩、保護者のみなさん、顧問の先生やコーチ、練習試合でお世話になったチーム…。また、体育館、道場、グラウンドやコートなど練習してきた場所。ボールやシューズやバットやラケットなど今まで使ってきた道具。お世話になったすべての人や物への感謝を忘れないでください。

試合があれば、必ず勝者と敗者が生まれる。

ただ、本当の勝敗というのは、試合の直後ではなく、

その後の人生で決まるのではないだろうか。

ジネディーヌ・ジダン (元フランス代表サッカー選手)

何事でもスムーズに上に行くことはないと思うし、一度や二度の挫折は誰にでもある。

一番重要なのは、その挫折から立ち直れるか、立ち直れないかだと思う。

本田圭祐 (元日本代表サッカー選手)

人間はやはり、悔しい思いも経験しなければダメだと思う。

悔しい思い出の数だけ、人としての力が増すと言ってもいいかもしれない。

小出義雄 (故人、マラソン選手指導者)

負けたとき、自分のどこがダメだったかを考える人は必ず成長できる。

自覚のある人は、勝ったときでも反省点を見つけて改善していくものだ。

三浦知良 (サッカー選手・元日本代表)

勝ち負けの結果よりも大切なのが、「この結果だけで善し悪しが決まるのではない」と考えることです。結果を残して慢心(※実際以上に自分は偉いのだと思う心)し、努力を怠れば、その後の人生は失敗します。反対に、負けた悔しさを活かして立ち直ることができれば、「あの悔しさのおかげで、私は成長できた」と思えるはずです。

筑前地区大会出場おめでとう！

- 水泳 個人メドレー200m・400m 優勝
- 女子バスケットボール部 4位
- 女子剣道部 団体戦 4位、個人戦 9位



- 私にはお母さんがいないけど、お母さんが私を命をかけてまで産んでくれたんだと改めて思いました。
- 自分らしく生きる。自分が優しくされたら人に優しくできて、優しくされた人も優しくできる。よい行動はよい循環になって素敵だと思った。
- 最後に話された「何があっても死んだらダメ」という言葉がすごく心に響きました。昔から私は、人と比べて「ぜんぜんダメだな」とか「もう死のうかな」とか思っていました。でも先生の話聞いて、もう周りの人と比べたり、死のうと思ったりすることをやめるようにしていきたいと心から思いました。
- 自分を大切にしようと思いました。無駄なことや余計なことをつついてしまう自分に対して、苛立ったりムカムカしたりして嫌いになっていましたが、そんな自分も愛せるようになっていきたいと思いました。また、当然のように様々なことができる日常の大切さもかみしめていきたいと思いました。
- 今までは、自分によいところがあまりないと思い、自分のことをよい感じにはとらえていなかったけど、今日話を聞いて、今の自分が、この自分が素敵なんだと思うことができた。
- 自分が産まれてきたことは奇跡だし、自分の周りにいる友達、家族をもっと大切にしようと思いました。そして、自分の行動には責任をもって、自分らしく楽しく生きたいと思います。叱ってくれるのは愛なんだと思いました。
- 話を聞いて、改めてお父さん、お母さんに感謝の気持ちをもてたし、自分を好きになれました。
- 「命」の大切さが分かりました。また、お母さんとお父さんがどれだけ頑張って育ててくれたかを考えると、今までのことが申し訳なく感じました。たくさん迷惑をかけたけど、私もまだ「子ども」なので、まだまだ迷惑をかけていこうと思いました。
- 3億分の1の奇跡の命として人生を生きていることを幸せに思います。これから何かあったら、すぐに誰かに話して、助けを求めることをためらわないようにしたいです。受験に向け自分にできることを考え、ベストを尽くします。笑って、悩んで、怒って、楽しい人生を送っていききたいと思います。
- 何かが吹っ切れたような感じがした。人と比べて苦しむより、自分を見て自分で自分を認めてあげようと思った。
将来の自分がどうするかなんて後で考えて、今は一人の中学生として今を生きようと思った。そして、親に迷惑と心配をかけて愛されて、その分大人になってから頑張って返したい。



保護者のみなさまへ

先日は、暑い中、進路学習会にご参加いただきありがとうございました。
また、中体連大会では送迎等のサポートをしていただいたり、子ども達に温かいご声援を送っていただいたりと、本当にありがとうございました。
さて、5月末に校内で、3年生徒の財布に入れていたお金がなくなるということがありました。3年生の生徒全員にアンケートを実施して聞いたり、探したりしましたが何の手がかりもないままになっています。
そこで、ご家庭におかれましてもお金の管理状況やお金の使い方についての把握とご指導をよろしくお願いいたします。必要以上のお金を持ち歩いていないか、必要以上にお金を使っていないかなどについてもご確認ください。
また、学校に不要なお金を持ってこないこと、持ってきた場合には担任に預けることにつきましても、ご協力をお願いします。